

台間ボードの「悩み」をすべて解決!

経営支援特集「安全・安心ホールづくり」の決め手はこれだ!

台間収納型 パーテーションボード **トリプル&ハーフボード**(SHORTタイプ)

感染対策の基本中の基本だからこそ「最上級」を選びたい——
「お店もお客も喜ぶ」「究極ボード」がこれだ!

現在、パチンコホールの「安全・安心」を考えたときに最優先すべきなのが感染対策だろう。(株)ゼウスの飛沫防止用台間ボード『トリプル&ハーフボード(SHORTタイプ)』は、お店もお客も喜ぶものとして急速に導入が進んでいる。

長期化するコロナ禍で、パチンコホールの感染対策として「基本中の基本の設備」となっている台間ボード。基本中の基本だからこそ、簡易的ではなく、しっかりと来店客の「安全・安心」を確保できるものが求められる。

「究極」の仕様を実現
 ①「お店もお客も喜ぶ」
 ゼウスの数あるラインナップのなかでも、来店客にとつての「安全・安心の確保」はもとより、「快適性の向上」、さら



ボード高を縮めたことでイスの肘置き等が干渉しない構造を実現している。

にはホールにとつての「業務効率」まで考慮した「ニューノーマル時代の究極の台間ボード」が、台間収納型の『トリプル&ハーフボード(SHORTタイプ)』だ。「究極」と呼べる理由として、以下3つの推しポイントが挙げられる。

②「台間ボード収納時の出幅は「わずか30mm」を実現」
 幅は一般的に500mmといわれるなか、三段式によって「最大515mm」を確保。簡易的ではない、適正な感染対策を実行できる。

③「ボードの下部をカットしたハーフ仕様」
 ①の課題と並んで、台間ボードのもうひとつの課題だが、台間幅の狭いホールなどで遊技客の離着席の際、体が当たってしまったり肘置きが干渉してしまうことだった。同製品はボード高の下部をカットして縮めたことで、離着席時の不便さを解消する。

①「台間ボード収納時の出幅は「わずか30mm」を実現」
 台間ボードの課題として指摘されていたのが、台の開閉時や入替作業時にボードに干渉し、作業のジャマになったり傷つけてしまう可能性があることだった。同製品は収納時のボードの出幅が「わずか30mm」で、そうした不安を解消する。

②「三段式(トリプル)で出幅最大「515mm」を実現」
 飛沫対策として望ましい出幅

③「ボードの下部をカットしたハーフ仕様」
 このほか、標準仕様として「USB・POP収納」
 「十オ리지ナル仕様も」
 なお、同製品はすでに全国の稼働トップクラスのホールを含む多数の導入実績があり、未導入のホールは、ぜひ検討すべきだろう。



遊技客の快適性を向上させる「POP収納スペース」「USBチャージャー」。

悩み②
 飛沫対策をちゃんとできる出幅にしたい

三段式(トリプル)で「出幅最大515mm」を実現!



[視覚での安心感]
 ・POP収納有り:50mm巾
 ・POP収納無し:40mm巾

悩み①

台の開閉時や入替時のジャマになる

ボード収納時「出幅わずか30mm」で干渉しづらい!

[上から見たイメージ]



悩み③

離着席時に肘置きなどがボードに当たってしまう

ボード下部カット(ハーフ)で快適性を向上!



台間収納型 パーテーションボード

トリプル&ハーフボード

「SHORTタイプ」

